

学びの広場

本は、わたしのともだち

10月27日から11月9日までの二週間は読書週間です。読書は、私達の人生をより豊かにするだけでなく、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

今月号は、皆さんが、本と出合い、親しむことができるような環境づくりを進めている図書館の取組を紹介します。

世代に合わせた本の提供

町立図書館の活動

初めて出会うおはなし会

図書館では本に初めて出会う場として、おはなし会を行っています。毎月第一、第三火曜日(幼児、児童向け)15時30分から、第四火曜日(おひざにだっこ、乳児向け)の10時30分からと各年齢に合わせ素ばなしや絵本、紙芝居の読み聞かせ、手遊び、わらべうたなどを行っています。



▲おひざにだっこして聞く親子

裏方の仕事体験

また、夏休みの時期、小学生には各学年の成長に合わせた仕事内容を体験してもらうこと、高校生はインターンシップ(職業意識と職業観の育成、職種への理解を深めるための実習)で図書館の仕事として本を提供する側のさまざまな仕事の体験を行っています。



▲読み聞かせ実習

高校生が制作した壁面の絵



季節や世代に合わせた本

いろいろな年齢の人に本を読んでもらえるように、紹介コーナーを作っています。

例えば春にはおしゃれの参考に、似合う色の見つけ方や春の旅、春の雰囲気を感じてもらえる話、食べ物など。シニアの方には、年金や健康を取り扱った本、昭和のなつかしい話題の本、エッセイなど。テーマはあまり長い間置いておかないで、短い間に入れ替えています。



▲季節に合わせた本の展示

新刊本の紹介

新しく購入した本はできるだけ多くの人の目に触れ、手にとって内容を確認できるように、毎月第一土曜日から一週間は、その月に貸し出す新しい本を展示し、予約できるようにしています。新刊で人気の高い本は予約待ち状態が続き、何カ月も書架に出ないことがあります。



▲新刊本の紹介

話+子ども+親

絵本カフェ

このほか「絵本カフェ」と題した講座を行っています。

親子で参加し、絵本の内容から創作したランチ作り+読み聞かせを聞く講座です。過去に「かいじゅうたちのいるところ」「はらぺこあおむし」「さんびきのこぶた」などを題材とし、絵本カフェを開催しました。



▲絵本をヒントに調理

本を探す時は

KLネット

KLネットとは、県下で行っている相互協力事業を利用して県内の他館から本を借りることができるシステムです。

県立図書館を経由して本を運搬するので、すぐに手元に届くわけではなくありませんが、他の図書館を利用登録するには住所制限があるため、利用登録が出来ない場合もこのKLネットのサービスを使えば本を借りることが出来ます。

秋の夜長、自分の好みの方法で本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今年は

国民読書年



じゃあ、読もう。

今年、国民読書年でもあります。昨年6月に、2010年を「国民読書年」と定めることが国会で決議されました。決議では、読書の町づくりの広がりや、様々な読書に関する市民活動の活性化など、読書づくりの意識を高めるため、国をあげてあらゆる努力を重ねることが宣言されています。

団塊さん、いらつしやい⑦フレッシュ

今回は、昨年の町民インディアカ大会をきっかけに発足したサークルで、幼い子供を抱える母親たちと、それを手助けしてくれる支援者(サポーター)が整っている、町内初めてのスポーツ団体です。このサポーターの代表者に「フレッシュ」を紹介していただきました。

私は、地区スポーツ員として各種町民大会の自治会内の参加者を集めています。近頃は参加していただける方が少なくなりました。また、娘夫婦が近所に住んでいることもあり、子育てに追われる娘世代の幼い子供を持つ母親に対し、何かお手伝いをしたいとも感じていました。そこで、スポーツが娘世代の母親の息抜きになればと思います。昨年、競技経験が無くても楽しめる町民インディアカ大会に娘世代の仲間を誘って参加してみました。インディアカとは、簡単に言うと大きなバドミントンの羽根をネット越しに手で打ち合う団体スポーツです。

初参加の結果はさておき、サポーターである私は、大

会前の数回の練習時に、母親たちが練習に専念できるように、幼い子供達の子守を受け持ちました。インディアカを通じ、日頃のストレスが解消できたようで、心身ともに解放された母親からは「いつも子育てで家の中にはかっているの、体を動かすのが楽しい!」「このまま続けて練習したいね」と、うれしい声が聞こえてきました。この声が、インディアカチーム「フレッシュ」を立ち上げたきっかけとなりました。

4月からは、町体育館で週2回、昼と夜の部に分けて練習をしています。当然のことながら今年の町民大会に向け、昨年とは違ったチームプレーができるよう、頑張っています。

なお、私たち団体では、同じ境遇の幼い子供を持つ母親世代の新しい仲間と、練習時の子守を一緒になって手伝ってくれるサポーターを募集していますので、興味のある方は、教育課生涯学習係にお問合せをしてみてください。

教育課生涯学習係 ☎(83) 7023